

会 議 録

会 議 の 名 称	第2回 大内地域協議会
開 催 日 時	平成21年11月17日（火） 午後1時30分～
開 催 場 所	大内農村環境改善センター
出 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	奥山 正雄、菊地 敬作、佐々木 肇、佐々木 多悦、田口 正夫、布施 隆子、 小笠原 良一、伊藤 直子、阿部 順子、富士盛 久美子
会議次第 1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 協 議 1) 地域づくり推進事業について 2) 定住自立圏構想形成方針の策定について（報告） 3) その他 4. 理事あいさつ 9. 閉 会	
会 議 の 経 過	別紙のとおり

出席者名簿

(33名)

委員(20名)	
会 長	佐々木 盛三
副 会 長	佐々木 ハツ
委 員	鈴木 郁夫
〃	吉 尾 榮
〃	佐々木 源治
〃	中 村 勝男
〃	佐々木 廣二
〃	伊 藤 金 一
〃	鈴 木 久 雄
〃	高 橋 教 子
〃	石 井 英 二
〃	齊 藤 貞 雄
〃	小 嶋 宏
〃	佐々木 正男
〃	東 海 林 重
〃	堀 川 一 博
〃	東 海 林 長子
〃	堀 隆 一
〃	佐々木 耕市
〃	鈴 木 鋭 一

職員(13名)		
由利本荘市役所		
理事		猿 田 正 好
大内総合支所		
総合支所長		齊 藤 光 一
振興課	主幹兼課長	工 藤 良
市民課	主幹兼課長	佐 藤 光 治
福祉保健課	課長	田 口 松 雄
産業課	課長	吉 尾 金 雄
建設課	主幹兼課長	佐 藤 光 男
教育学習課	課長兼大内公民館長	加 藤 均
下川大内出張所	主席参事兼出張所長	星 川 謙
上川大内出張所	参事兼出張所長	菊 地 久 昭
(事務局)	主席参事	富士盛 良輝
	主査	真 坂 輝 仁
	主任	鈴 木 祐 也

会議の経過

第2回大内地域協議会

平成21年11月17日（火）
午後1時30分 開会

○事務局

ただ今から平成21年度第2回大内地域協議会を開催いたします。
佐々木会長より、あいさつをお願いいたします。

○佐々木(盛)会長

【あいさつ】

○事務局

続きまして、本日出席の職員を、振興課長より紹介いたします。

○工藤振興課長

【出席職員紹介】

○事務局

案件に入ります。これより進行を佐々木会長をお願いいたします。

○佐々木(盛)会長

これより、私が議長を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでははじめに、地域づくり推進事業について、経緯を支所長に説明頂きたい
と思います。

○斉藤総合支所長

【地域づくり推進事業の経緯について説明】

内容については担当からご説明いたします。

○事務局

【地域づくり推進事業の内容について資料により説明】

○佐々木(盛)会長

ただいまの説明についてご質問等ございましたらお願いしたいと思います。

○A委員

資料の中に“議会の議決を経て”とありますが、大内地域の 300 万に関しては総合支所で判断できないものでしょうか。

○工藤振興課長

分かる範囲でお答えいたします。

予算の議決権は議会にありますが、事業の内容に関しては本課との相談もありますが、対象外とされる経費を除いては、内容等詳細について議会での議決が必要であると言うことは無いと思います。地域協議会・総合支所で認めたものであれば、（議会で）内容等に触れることはないのので、あくまでも予算に対しての議決と受け取ってもらえればと思います。

○A委員

議会の議決を得なければいけないとのことであれば、どれだけの規模の案を出して良いものかわからないので伺いましたところでありました。

○工藤振興課長

事前に資料だけをお渡ししておりましたが、今回担当から説明させていただきました。ただ、なかなか持ち帰って案を出して下さいと言っても大変だと思いますし、今日時間をとってありますので、「例えばこういった事業はどうか。」といった案、考えていること等がございましたら、ご意見いただければ、それぞれが提案するときの参考にもなるかと思います。

合併後、地域の中でやりたい事業があっても、予算が取りづらいこともあったので、必ずしも全市的な事業、大内全体でまとまって何百万という事業で無くてもよいので、考えていただきたいと思います。

○佐々木（盛）会長

先ほどの説明にありましたが、計画のとりまとめに関しては、今年度は発足年度ということもありますので、10 月末ということにこだわらないで、多少時期は伸ばしていくということでもあります。

提案書の提出は 12 月 11 日までということですので、それまでに資料の内容に基づいて提案していただければと思います。

○B委員

この 300 万というのは地域協議会に権限が与えられて付けられた予算なのか、総合支所に与えられた予算なのか、地域協議会そのものに充てられた予算で皆さんの考えを使ってくださいということなのか、どちらになるのでしょうか。

○工藤振興課長

そういった色づけ・区分けはされておりませんが、いずれ大内総合支所管内で計画されたものということでもあります。意見は地域協議会の方でまとめてということになっております。当然支所のわたしたちも皆さんと一緒に考えていく事業もあるでしょうし、職員からも意見が出るかと思いますが、それらも地域協議会にかけた上で同意を得て、この協議会の場で決定してもらうこととなります。

わたしたちも提案者になりますので、それをまとめて予算要求していきたいと思っております。

○C委員

環境整備事業と言うことで環境美化活動等とありますが、実はわたしたちの町内で、羽後岩谷駅前の花壇整備をやっております。国道沿いの花壇については助成があると聞いていますが、そこはいくらやっても助成は無いですよ、ということは言われてまして、ここ4年ばかりはわたしたち任意の立場でお金を出して行っております。

何か無いかと建設課にお願いしたところ、いくらか対応していただいています。ただ、それも段々先細りになりまして、私共で1人5,000円出して行っております。

何か行政の方で他にないものかと思っていたところ、こういった事業があるとのことでしたので、そういうものもこれに該当するもののでしょうか。

○工藤振興課長

対象事業の環境整備についてですが、合併後、特に、そういった事業のところが予算措置されてない、あるいは少なくなっているということもありますので、協議会の中で話し合っただけで決まればという前提ですが、そういう事業は該当するようにしていきたいと思っております。

ただ、岩谷のそこだけということではなく、皆さんに声をかけて、大内地域で行っていくということになると思います。

○C委員

JRとの関係もありまして、JR羽後本荘駅の駅長を訪ねていったところ、予算的にはないけれども何らかの形で援助したいということで、除草剤はもらったことがあります。ですが、駅長が代わったりすれば、そういったものはちょっとという風になってくるのかなと感じております。

せっかく大内町の玄関口ということでわたしたちの町内会でも謳っておりますし、あそこは私たちの町内会ではないですけど、ボランティアでやっておりますので、その辺も考慮願えれば、これに提案したいと思っております。

○佐々木（盛）会長

提案書については地域協議会委員の名前で提出ということになってはいますが、これはそれぞれの町内単位から挙がってきているものではありません。そういう関

係につきましては、各町内会に諮ってからということになるのでしょうか。

○工藤振興課長

町内会の代表で来ておられる委員もおられますし、他の団体の代表の方もおられます。また、そういった団体の枠組み外で選ばれた委員の方もおられますので、必ずしも町内会の総意でないと提案できないということではないです。

個人の意見であっても、この地域協議会で諮って、それについて大内地域で取り組もうということになれば、かまわないと思います。

また、町内会の代表の方についても、代表だからといって、町内会で話し合った上での総意として挙げなくても結構ですが、何かの機会にこういった事業があるといったことを発信しておいていただけると、よりスムーズに進むのではないかと思います。

○B委員

300 万の予算がある中で、担当の方から対象事業の例として、芋川まつりやサマーフェスタ、あるいは講演会、フラワーロードなどの全体を考えた発案をいただいたのですが、例えば 30 町内から同じような事業が提案された場合に、10 万ずつ 30 町内にといった積み上げで 300 万になっても良いものなのか、市で全体的に行う事業が何百万と入ってきた場合にはその規模も小さくなるでしょうし、町内会で講演会をしたい、講師料を払いたいといった集落がたくさんできたり、自分たちの公民館・道路周辺の花壇整備をやっている団体に対して、それにも応援できるのか、また、その予算がすでにあってやっているとところにも、この事業からダブルに予算化できるのか（上乗せできるのか）お聞きしたい。

○工藤振興課長

市としても初めての事業で、なかなか色分けができていない状況であります。

全市的にも今こういった話をしていますので、まず皆さんからご意見を伺いましょうという姿勢で進めているところであります。

ただ、現在大内でも運動会等の住民自治活動に対し、町内会の活動費として 3～4 万円前後の補助金がでていきますので、さらに各町内会へ何万円とかという話になると全体の中で話し合っていく事業としては成立し得ないかもしれません。

もちろん、皆さんの提案を見ながらということになりますけれど、300 万という予算は 5 万円ずつ分けてしまうとすぐ無くなりますし、分けるにしても事業に統一性がないと、この町内会ではこれをやりたい、別の町内会ではあれをやりたいといったものに割り振っていくのは難しいのではないかと思います。

○佐々木（盛）会長

この案件に関する地域協議会は、他地域ではすでに終わっているとのことですので、どういう状況で進めていってほしいのかといったあたり、理事の方からお話いただければと思います。

○猿田理事

どこの地域におきましても、わたくしどもお願いしていますのは、各町内へ均等配分みたいな形での割り振り、バラマキみたいなものはどうか勘弁していただきたいということなんです。合併の前後は別として、最近どうもこの事業がチカラっ気無くなってきてるな、もう一押しすれば昔の勢いを取り戻せるのにな、というふうに考えている事業だとかを提案いただきたいのです。

従来やっていたイベントの実施主体の方々に声をかけて、手挙げ方式で 300 万の内であんた方で何かやってくれ、といった形でやれば楽は楽なんです。だけど、それでは一定程度の枠から出て、新しい仕組み、新しいパワーは生まれてこないのではないかなということもありまして、地域協議会委員の皆様に窓口的な役割をお願いして、何とか知恵を絞っていただきたい。

お一人お一人に宿題みたいな形式で大変恐縮ですけど、一人で悩まないでいただきたい。いろんな人たちに声をかけていただき、町内にちょっとおろしてみるだとか、自由な形でアイデアを積み上げていただくような機会をもってもらいたいということをお願いしております。

3 ～ 5 枚ずつ配っていついつまで提出してくださいという形は同じですが、それぞれの地域バラバラといえばバラバラです。ただし、これは初めての取り組みですから、これを出せば馴染まないんじゃないかとか、これを出せば他とカチ合うんじゃないかとか言うようなことを深刻に考えてしまうと腰が引けるでしょうし、提案が少なくなってしまう可能性がありますから、言葉を悪くすれば“思いつき”でいいと思います。ひらめきと思いつきは紙一重ですから、そういった形で提案する勇氣を持って取り組んでいただくことをお願いしたいと思います。

他の地域にあっても、皆さんこれはどうだろう、あれはどうだろう、という形で言われましたけれど、市の方では極力、常識的な範囲を超えところ以上の、そういったレベル以外でのしがらみ、制約は一切設けないつもりです。議会の話も出ましたが、事業内容に関しては、地域協議会が良しとするものに関しては、議会ではとやかく言う筋合いのものではないと理解してます。

端的に言えば、キャッシュでぼんと 300 万ここさ置くから、好きに使えるように各種団体のアイデアを募りましょう、というやりかたです。ただ、公金の扱いですし、今年度は予算要求に間に合いませんので、細分化した予算要求はできませんけれども、おそらく補助金の項目に 300 万大内枠分として載せておくことになると思います。

この事業の 12 月 11 日の（提案書提出）〆切を過ぎて、1 月あたりからじわじわと絞り込みをして、これとこれとこれとこれで行こうじゃないかと、仮に何本か

の事業に精査できたと、それで総額 300 万ということだとすれば、それに必要な予算枠の予算取りというのは当然必要になってきます。そこで、講師謝礼がいくらだとか、会場の借り上げ料がいくらであるとか細分化したものを、6 月の議会で 300 万 1 本から組み替えをして、それぞれの実施団体が使いやすいような形でおろしていきたいという考え方でおります。

ですから、ハードもの以外は何でも OK だと、極端に言えばそういったどっしりした考え方で提案していただいてかまわないと思いますし、12 月 11 日以降の仕分け作業が紛糾するなり難儀するぐらいの材料を、たくさん出していただければありがたいと思います。他の状況というのはみんな似たようなものですから、そんなに心配なさらなくても結構ですので、今申し上げたような雰囲気での最初の取り組みはお願いしたいと思います。

単年度で結論なり成果を見い出しましょうといっても絶対無理ですから、長谷部市長の初めての自分の色、カラーを出した仕事でありますし、向こう何年かは当然こういったものは継続的に予算化をする気持ちがありますので、それを前提に考えていただいてかまわないと思います。

2 年、3 年、4 年にわたる継続事業、それでパワーを地域によみがえらせたいと、そういうご提案は非常にいいものではないかと思しますので、そういったことで案を仕上げていただければと思います。

予算の細かい書き方については必要ないと思います。振興課の皆さん方はプロですから、こういった事業をやりたいとなれば、振興課とのやりとりの中で十分仕上がってくると思います。こだわらずに、心配しないで概要だけ押さえてペーパーを提出していただきたいと思います。

○佐々木（盛）会長

ありがとうございました。B さんどうぞ。

○B 委員

今の説明の中でひとつ確認しておきたいことは、予算は継続的に毎年のようにあるという認識で良いのかということ。また、事業に関しては継続性があった方が良いという話がありましたが、今年決まった事業でも、来年手を挙げて採択になるとは限らないと思います。

5 カ年計画でこの事業を続けていくということで採択になった場合、来年ももっといい事業があっても 300 万円より予算は上回らないでしょうし、去年事業として挙げたけれど今年は他にもっと良い事業があるからそちらにあげることにはならないでしょうね。

○猿田理事

5 カ年計画をとった場合、枠が決まってしまって、他の事業ができなくなるので

はないかといった心配を皆さんされると思いますけれど、それはこの中で皆さんがやりとりをしていただくことだと思います。

全部が全部4カ年5カ年継続でなくても良いでしょうし、予算取りの話として300万にこだわる訳じゃないですけど、足りないと言うことになれば来年400万になるかもしれません。それは分かりませんが、いずれ役所の職員というのは議会を無視したものの言い方をすれば、がつつりごしかれますし、今申し上げたことも議会と約束したものではございませんけれども、市長の腹の中でこういったものは継続性が必要だという認識でありますということでございますから、公の場での発言としてはこの辺に押さえさせてください。

○D委員

今、理事さんの方からこの300万についてはバラマキに思われたくないとの話がありましたけれど、由利本荘市がこの財政難であるときに、1市7町で2,400万の予算が付いたとすれば、ばらまきと捉えられても仕方がないと思います。

使い方がそれほど厳しくないのであれば、今回1回各町内会に平等に配分して、事業計画を挙げてもらったらどうでしょうか。

○工藤振興課長

先ほど理事からも話がありましたように、基本的にはそういった形での配分は、あまり適当でないという考えは出ているようです。各町内会単位での事業もいいでしょうけれど、ここ大内の地域資源を活用しての、この先伸ばしていけるような事業なり、人づくりなりに使っていくべきであると思います。

例えば、大内では温泉が4つあるし、川まつりや民謡もあるから、それらを組み合わせる事業は出来ないかとか、あるいは先ほどの駅前通りの花壇整備にしても、上川、下川の通りについても同時に整備するだとか、そういう話も出てくるかも知れません。国道沿いは県の事業でやっているようですけれど、それ以外の箇所ではなかなか取り組みにくいということもあるようですし、大内地域全体でこの事業を推進していこう、という方向性が出ればいいと思います。

必ずしも5年継続でなくてもいいですし、今年はこれ、翌年はこれといった単年度事業でも良いので、ぜひそういう意見をお願いしたいと思います。

○佐々木（盛）会長

他に質問ありませんか。

○E委員

理事の方から予算の組み替えの話があったんですけど、要領の中にある“市等

が実施する既存事業のグレードアップも可”という項目に関して、今まで行ってきた花火だとかの既存の事業・イベント・エコ活動も対象になって、新しい予算になるということでしょうか。

○猿田理事

そのとおりです。従来継続して行っている事業として、花火だとかいろいろあると思います。それらはそれらに必要な予算として、当然今年度と同じだけの、通常の予算要求をして予算折衝にあたるわけですけれども、ここの地域のこの地域協議会の総意として、このイベントは何十何年だから少し色を出したい、というようなご意見があった場合には、ぜひ挙げていただきたいと思います。

現在、来年度の当初予算について、振興課はじめ各課で細かい予算要求、詰めの作業をやっている最中ではございますが、この事業につきましては、中身を今こうやって初めて議論をさせていただいてる状況でありますし、予算の細分化は間に合わないので一括で挙げましょうと、そして6月に、中身を検討した結果を基にして、必要な部分に組み替えをして充てがっていきましようということですから、既存の事業でもかまいませんし、新規のきらっと光る事業の提案も何とかお願いしたいと思っております。

○E委員

ということは、もしかすれば、今までやってきたイベントの予算の組み替えもあり得るということでしょうか。

○猿田理事

組み替えというよりも増額です。

例えば、今までやってきた事業において、ずっと10万円ずつしか予算がついてない、10万円でやるには今年はちょっと色を出したいからもう10万円必要じゃないかといったときに、300万円プールしたもののなかから10万円分を6月くらいにボンと組み替えして、パワーを付けてやることも可能でしょうということの考え方です。

ですから、個別の事業で従来予算化しているものを、とやかく削ったりどうのこうのという作業では無いとお考えください。

○F委員

先ほど振興課長からの説明でも触れたようですけど、(住民自治活動)支援交付金との絡みなんですけれども、ダブったり、削られたりだとか、その辺のことをもう少し詳しくお話いただきたい。

○工藤振興課長

この事業自体がまだ詰められていないので、はっきりは申し上げられませんが

ども、今やっている支援交付金については、町内会によって運動会やスポーツ大会、講演会等の中で、食料費はだめですが、講師の謝礼であるとか、運動会の商品だとかに使ってもらってます。

単一の町内会に対し、この事業費をさらに足すというのがいいのか悪いのか、さっき理事の話にもありましたが、(単一)町内会に、例えば 10 万円もする講師を呼びたいとなっても皆さんに認められるのかどうか、支援交付金で今まで 1 万円の講師を頼んで講演会であるとか、地元で勉強会とかやったけども、うちでは立派な講師を呼びたいので 10 万円上積みして下さいという話は、なかなか全体の話の中ではまとまりづらいかと思います。

○猿田理事

なんとしても公平でなければだめだと、公平が一番だよというようなことで、均等配分が一番わかりやすくいいのではということに皆さん方の考え方がなるとすれば、それはそれで考えなければいけないと思います。けれども、この趣旨をもう少し噛みしめていただいて、大内地域全体で何かこう知恵を絞って力を出し合えるようなものを見いだしていけるよう、お願いしたいと考えています。

その全体の力も、各町内の底力から生まれてくるんだということにもなるんでしょうけれど、そういう意味合いとは別に、集落ごとという考え方を脱してもらって、もう少し大きいエリアでもって何かを考えていただいて、協調しあっていただければと思います。これが、ひいては地域全体、大内地域全体、由利本荘市全体というかたちで発展していくことが究極的な望みでもありますし、目標だというふうに考えています。

また、22 年度の当初予算の説明の中で、そういった趣旨の議会説明をおそらく市長は申し上げるはずですので、どうかその辺はご理解をさせていただいて、ご難儀をさせていただきたい、何とか知恵を絞って新しいものに取り組んでいただきたいというふうに考えます。

○G委員

ちょっと考えるのですが、今まで行ってきた観光事業の中で、折渡の千体地藏がありますが、今年ちょうど何周年だというときには、そういう今までやってきた事業に加算するというのは可能なわけでしょうか？

全体の地域ですから、観光事業でも今年特別何周年に当たるから、のろしを上げたいというような場合には、そういうお金の使い方もあるのでしょうか。

○猿田理事

ここに挙げた実施要領の 2 番目の既存事業のグレードアップの項目に、今 G さんがおっしゃられたことは、該当することだと思いますので、充分提案に値すると思います。ただ、私が申し上げたいのは、どこの地域に行っても申し上げていることですが、既存事業を…という捉え方をすれば、今までやっていただいていた、難儀

していただいている人方にとってみれば、真っ先に手を挙げたい事業というのは数多くあるんです。

だけれども、そういうことだけの既存事業のグレードアップ、あるいはパワーアップだけではどうなんだろうかな、果たして地域の皆さん方の知恵が本当にみんなで絞りあった結果という形で表現できるのかなと思うこともありますし、それはそれでけっこうなんですけど、地域協議会に新たな望みをかけている、この趣旨というものをご理解いただいて、従来無かったんだけれども、こういった事業があればいいんでないの、というようなところも少しだけ心にとめていただいて、提案していただければありがたいと、こう思います。

○A委員

大内には今、大内太鼓というものがありまして、今同好会でやっておるようですが、太鼓の補修等をお願いしたいということで、教育委員会の方にもお話ししましたが、こういった事業でもできないかということを考えます。

あと、さつきセンターに陶芸の釜があるんですけど、陶芸家の同好会やっている女性部の方が本荘にいて、そういう話をしたら、「大内にもそういう陶芸の釜があるんであれば、お互いに交流してもっと幅広くやりたいですね。」ということで、もし良かったら紹介してくださいよ。」ということでした。

来年、さつきセンター何十周年記念ということでしたので、陶芸とさつきセンターを組み合わせ、周囲の旅館・温泉も絡めながらやらなければならないと思うんですよ。

（由利本荘市の主たる観光事業である）鳥海山麓でもかなり厳しい中で、大内地域だけでやるのではなくて、他の地域からも呼びこんでこなければ、なんぼ頑張ったってだめだと思うんですよ。人口もだんだんと減ってますから、宣伝アピールするためにも交流をしないと、観光でも何でも。

今大内には、かすみ温泉と滝温泉と小羽広館という立派なものがありますけれど、本荘市内の人に「分かるか。」といっても、「いや、分からねな。」と、滝温泉は知られていますけれど、「小羽広ってどこや。」とか、「かすみ温泉にはかすみ桜という天然記念物があるんですよ。」と言っても、どっから行くんだといわれたりするので、合併しても市民の6割くらいの人には知らないんじゃないかと思います。それをアピールしていくのが地域づくりだと思いますし、その観点からやろうと思えば、300万じゃ全然足りないんですよ。だけど少しずつでもいいから、陶芸の窯でも大内太鼓でも何とか出来るものですか？

ここに教育学習課長もおりますので、交流（事業）として行えるかお聞きしたい。

○加藤教育学習課長

陶芸関係については、今年実は生涯学習奨励員と教育委員会で話し合いました。

ここ2、3年ほど一部故障した部分があって、指導者の関係もあるし、教室としては使ってなかったですが、今年の春皆さんからそういう話が出て2回ほど見に行っ

ております。今の状況であれば手直しすれば使えるそうで、この後有効に使わなければならないと言うことで話はしてますし、生涯学習のようなものもこれから始めたいと思います。

他地域の方との交流も出来ることであればやりたいですし、進めていければという風に思っています。

○A委員

わかりました。そういったことも計画として提案したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○佐々木（盛）会長

それ以外にありませんか。

わたしは、行政協力委員もやっておりまして、町内会関係の補助金等に使ってもいいのではとも考えておりましたが、先ほど理事や振興課長が言っていたように、それではなく、やはり新しく市長が考えたこの地域づくり推進事業ですから、それにふさわしいような、町内会単位でない（もっと大きな）イベントでもいいし、この要綱に沿うような事業を提案してもらいたいと、そういうことですので、今日ここで結論を出して、ということにはならないと思いますので、皆様方からは今までの話を総合した結果、後ほど提案していただきたいと思います。

この問題につきましては、他に無ければ閉じて次に進みたいと思います。

この提案書は先ほど申したとおり 12 月 11 日まで提出とのことですので、よろしくお願いいたします。また、提案書の精査等に関連して、地域協議会の幹事会というものを立ち上げたいと思っておるところでありますので、後ほどその他で挙げさせていただきたいと思います。

次に定住自立圏構想の形成方針の策定についてですけど、これはすでに決まったことの報告でありますので、振興課長からよろしくお願いいたします。

○工藤振興課長

【定住自立圏形成方針策定に関する説明】

○佐々木（盛）会長

ありがとうございました。今申し上げたことは、定住自立圏形成方針が策定されたということの報告でございました。

まだ協議していただくことはありますが、ここで 10 分ほど休憩したいと思います。

－ 10 分休憩 －

○佐々木（盛）会長

会議を再開したいと思います。

案件は 2 つ終わったわけでございますけれど、その他と言うことで振興課長の方からお願いいたします。

○工藤振興課長

案件に挙げず、その他と言うことになっていきますけれど、大内地域協議会幹事会設置要綱（案）という資料がありますので、ご覧頂きたいと思います。

先ほど会長の方からも話ありましたけれど、大内地域は 30 名の委員で（地域協議会を）やっております。これですとやってきたわけですが、今回のように地域づくり推進事業等細部にわたって協議をしていく中で、現在の体制ですと、会長、副会長さんと事務局で詰めていくことになるんですけど、そういう形ではなく、委員の中から幹事の方を選び、来ていただいて、事業を検討していただいた上で、協議会全体にかけて話し合いをするという形にしたいと考えております。

職員だけで、挙がってきた案を見てしまうと、こちらの意向が強く出てしまうということもありますので、現在国で行っている事業仕分けとは少し違いますけれど、挙がってきた提案書で同じようなものをまとめたり、協議したりといった幹事会を設けたいと考えております。

ただ、市の条例等に基づく会ではございませんので、大内地域協議会の中の取り決めとして、この設置要綱をつくっていききたいというふうに考えております。要綱の案について順番に沿って説明していききたいと思います。

それでは、要綱の案について順番に沿って説明させていただきます。

【設置要綱に関する説明：資料参照】

○佐々木（盛）会長

ただ今振興課長から説明のあった幹事会設置要綱の案でございますけれど、この要綱に異議がなければ、案を取りまして、設置要綱として進めさせてもらいたいと思います。

（異議なし）

ここで、3 条にあります、委員の中から若干名というところを本日決めていただきたいと思いますが、いかがしたらよろしいでしょうか。

○C委員

附則にありますように、今日から実施するとのことですので、事務局案等がございましたら、ご提案いただきたいと思います。

○工藤振興課長

事務局としても、多少の準備はしているんですが、ぜひわたしという方がおられましたら、お願いしたいと思っております。

(この場でメンバーを固定しなくとも) 案件によって、幹事会のメンバーが替わるということもあり得るかと思えますし、例えば観光・温泉等の協議の場合には、協議会の中に温泉関係者もおられますので、お願いしたりといったケースもあると思えます。各方面の関係者の方に来ていただくこともあると思えますし、そういう広い意味で事務局の案ということで提案させていただきます。

【事務局案を提示】

○佐々木(盛)会長

ただ今、要綱に沿うような事務局案をいくつかいただきましたので、私の方から発表してお願いしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは私の方から、会長・副会長を除く方々を発表し、お願いしたいと思えます。

(委員名発表) このうち、2人は今日欠席しておりますが、この6名を考えております。よろしいでしょうか。

(異議なし)

それではこのように決定させていただいて、幹事会委員となられた方々におかれましては、ひとつよろしくお願いしたいと思えます。

○工藤振興課長

この件に関しましては、皆様のご賛同を得られましたので、今のような形で、特に今回の地域づくりの案を皆さんから提出いただいた際には、お集まりいただき、一緒に議論してまいりたいと思えます。当然その結果等についても、この協議会に諮ってまいりますのでよろしくお願いしたいと思えます。

もう一つ、今新聞テレビ等でも出ていますけれど、風力発電の関係、統合家畜市場の関係について、今こちらで把握している大まかなことについて、担当からご報告・ご説明させていただきます。

○事務局

【大内三川に事業予定の風力発電について説明】

○吉尾産業課長

【統合家畜市場について説明】

○佐々木（盛）会長

ありがとうございました。

地域協議会委員の方々には都市計画課の方から今月の27日の日に、都市計画のマスタープランの説明ということで通知がいていると思いますが、わたくしは地域協議会の会長ということでその策定委員も兼ねておりますので、先日市役所の方に行ってまいりました。

市の商工会連合会会長の村岡さん、それとJAの阿部組合長さん、消費者生活の方から女性の会の方の代表と、市の企画調整部長等が集まりまして、合併前から本荘地域、矢島地域について策定されてきた都市計画に加え、このほど大内地域と西目地域についても都市計画の中に加えていきたいという説明でございました。

それで、大内についてはどのあたりですかという質問を致しましたところ、大内ジャンクションの周囲と言うことで、大内地域の中でも旧岩谷地区周辺と解釈してもらいたいということでしたので、今回の連絡は地域協議会の委員の皆様全員と、岩谷地区の行政協力員の方々に、27日の午後6時～7時に（説明会）開催との通知がいているはずでございますので、そちらの方にもぜひ出席していただきたいと思います。

本日予定されている案件については、これで終了となります。

○E委員

せっかくの機会ですし、定住自立圏形成方針の中にも触れると思いますのでお願いしたいと思います。

障害者・老人についてですが、選挙に行けない人がおりました。（公の施設ですが）新しい建物だとバリアフリー化して良いのだけれど、古い建物だと段差があって手すりもない、とても選挙に行けないという人がいるんですよ。イオンまで行けば靴も履き替えなくていいしということで、わざわざイオンに行く人もいます。

ですので、地域公共交通の充実という（方針の）中に施設も絡めて、障害者用のトイレ等も含めて、何とか機会あったらお願いしてくださいといわれてきましたので、考えてもらえるようにお願いしたいと思います。

○工藤振興課長

今の意見は、選挙が終わった後、職員の反省会でも出ました。

大内地域については町内会の会館で投票しているところが多くて、入り口の段差に限らず、中に入ってから畳の部屋に入るのにまた段差があるといったところもあります。全部は改修できないと思いますが、玄関だけでもと考えております。

それからトイレの関係、新しい町内会の会館については身障者用のトイレが付いていますし、創作いきがセンター、高尾・葛岡のコミュニティセンターについては洋式のトイレを入れることにしております。工事中、これから発注のものもあり

ますけれど、なるべくそういうふうにしていきたいと思います。

体の具合の悪い方、不自由な方については、期日前投票を利用させていただいております。全施設の改修は難しいと思いますが、大内総合支所、各出張所については、段差のないように設計したいと考えておりますので、期日前の利用をお願いしたいと思います。

加えて、今日はこの話はしないでおこうと考えておりましたが、現在大内地域 17 の投票所があるんですが、(選挙) 当日に投票した人、4,238 おりました。それに対し、期日前に行った人 1,904 人ということで、期日前に済ましてしまおうという人が増えてきているようです。30 %を超える方が期日前をおこなっていますので、投票所によって、いびつな形というか、半分以上期日前で終わっている投票所もあります。そういうこともあって、これから町内会等と相談も致しますけれど、多少投票所を統合していかないと、とも考えております。

この地域づくりの 300 万の他に、今支所の枠ということで 500 万あるんですが、これが 700 万に拡大される予定です。先ほど話した 300 万プラス支所管内の修繕等に使える分が 700 万ぐらいまで上がる、予算が通れば、ですけど、そういうことになってますので、その辺も利用しながら、少しずつでも古い分については必ず直していきたいと考えております。

○H委員

わたし 4 年間町内会長やらしてもらいまして、12 月で任期となります。それで町内会長の待遇改善と言うことから、ひとつお話しさせてもらいたいと思います。

この会にあたって、いろいろと調べてもらったんですけど、平成 14 年頃私どもの町内会長(の手当)は 23 万くらいございました。それから 19 年は 13 万ほど、20 年は 10 万ほど、21 年は 7 万ほどになっております。

ちなみに町内の状況をお話ししますと 79 戸で 330 人、小学生が 17 人、中学生は把握してございませんが、一人世帯が 6 件あります。高齢者だけの世帯も増えております。子供会、青年会等の会もございまして、それらに関する事業等をかいつまんでお話しさせていただきますと、1 月は町内会の役員会、消防団の出初め式、寿会の新年会、子供会の冬休みの行事、健康づくりの集会、総会、市長と語る会、2 月に入っても交通安全関係の会、岩谷地区の町内会長会等いろいろとございます。

1 万でも 1 万 5 千円でもいいから町内会長へ増額してもらえれば、地域の活性化につながるのではないかと考えておりますので、考えていただけたらと発言させていただきました。

○工藤振興課長

Hさんから話があって、事前にこちらで公表して資料等をお渡しした上での今の話なのですが、今町内会長さんの手当というのは市では決めていないです。町内会で決めていますので、市の方で会長の手当いくらという風には決めておりませんので、その辺ご理解いただきたいと思います。

確かに旧大内町時代と比べて、現在町内会全体のこちらからの補助金は減っております。50世帯のところだと、(平成)18年で17万、それだけで言えば現在は6万に下がっています。ただ、住民自治活動支援交付金ということで、別枠で(補助金として)出しておりますので、これを加えますと50世帯あたりで言うと11万確保しております。

大内地域は(合併前の手当が)高かったものですから、(昔ほどまでは)追いつけません。しかしながら、町内会の会館等の火災保険を市で負担するようになりました。以前は町内会で3万なり4万なり負担していたかと思うのですが市で負担しております。あと、町内会の街路灯についても現在全額市で負担しております。

ですから、由利本荘市として町内会に直接渡すお金は減っているんですが、電気料とか保険料とかを市で負担しておりますので、そこら辺を加味しながら考えていただきたいと思います。

町内会長会等でこのような質問が出た場合には、今申したような回答をしておりますので、何とかご理解願いたいと思います。

○佐々木(盛)会長

付け加えますと、行政協力員の手当というのは合併したと同時に最悪の状態でありました。当時企画調整部長であった理事もおりますけれど、わたしたちは町内会手当というものが直接ではなく、予算を通して払われるということであれば、行政協力員は引き受けるけれども、町内会長はやらないという反対の意見を申し上げておりました。

それでは最後に理事の方から一言挨拶をお願いいたします。

○猿田理事

今日で、本荘も含めて8地域協議会の2巡目が終了いたしました。

どこもそうなんですけれど、新しいものに取り組むときには気概が必要でありまして、ただ、なんとしたらいいんだと悩んでばかりでは斬新なアイデアというのは出てこないと思います。

委員の皆様こういう言い方をすれば大変失礼なんですけれど、しょしこど忘れてしまって、何でも思いついたことメモして、その都度ご自分で見比べていただいて、これぞというやつを何とか提案していただければよろしいのでは、というふうに考えます。

これが、来年度予算における、地域におろす事業という意味でのひとつの目玉というふうに市長も説明するに違いありませんし、議会の方でもそういった受け止め方をすることになると思います。初めて長谷部市長が自らのカラーを直接住民にお示しするいい機会になるというふうに思いますので、それをしかと受け止めて、事業に取り組んでいただけたら大変ありがたいと思います。

提案書のメ切が12月11日とのことですから、1月以降3回目、4回目の協議会で、お世話になることもあろうかと思いますが、あまり難しい課題は持ってこないように一生懸命努めるようにはしていますが、どうもお願い事が多くて恐縮です。

ただ、今回のこの地域づくり推進事業については、一方的におろすような仕組みの話をしたつもりは全くございませんで、何とかこういうキャッチボールをして、皆様に地域に還元し得るいいソフト事業を提案していただきたい、それ一点でございますので、今後ともよろしくお願い申し上げたいと思います。

今日は貴重な時間お集まりいただき誠にありがとうございます。

○佐々木（盛）会長

これを持ちまして本日の会を閉じたいと思います。本当に長い間ごくろうさまでした。ありがとうございました。

－午後3時42分閉会－

